

# 新潟市若者支援センター「オール」の基本方針

## 1 若者支援センター「オール」…社会的・職業的自立を支援する施設

○新潟市若者支援センター「オール」は、若者の社会的・職業的自立に向け、課題を解決し願いを実現するために、行政・地域・市民と協働したり若者同士が支え合う関係を築いたりすることを通して、全て（ALL）の若者が自分に自信を持ち、社会性を身に付け、夢や目標に向かって動き出す（OARを漕ぎ出す）ことを支援する施設です。

## 2 職員の姿勢…協働体制をつくり、若者の課題を解決し願いを実現する

### (1) 相談スタッフ

- 若者を機関・団体につなぎ、若者の課題を解決する支援をする。
- 機関同士をつなぎ、協働で若者の課題を解決する支援をする。

### (2) ユースアドバイザー

- 若者を見守り、若者がアイデンティティを確立するまで安心して過ごせるように支援する。
- 相談や事業へつなぎ、課題を解決し願いを実現する支援をする。

### (3) 事業スタッフ

- 自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達<sup>注1)</sup>を促す支援をする。
- 若者同士や若者と地域をつなぎ、願いを実現する支援をする。

## 3 ねらい

### (1) 相談→支援機関・団体と協働し、若者の課題を解決する支援をする。

- 相談窓口として適切な機関・団体に紹介したり、複合的な支援が必要な場合は複数の機関・団体による協働支援をコーディネートしたりすることを通して、若者の課題を解決する支援をする。

☞リファラー（紹介）機能をもったワンストップの相談窓口

☞新潟市若者支援協議会の開催（全体会議・実務代表者会議・個別支援会議）

### (2) 居場所→アイデンティティ（自分を知る）を確立するまで安心して過ごす場所を提供する。

- 新潟市ユースアドバイザーによる若者の見守り活動、相談や事業につなぐ活動を通して、アイデンティティ（自分を知る）<sup>注2)</sup>を確立するまで安心して過ごす場所を提供する。

☞見守り活動（受付・話し相手、ミニ講座開催・自主企画支援、環境整理）

☞相談内容は相談スタッフにつないだり、事業を紹介し事業スタッフにつないだりする。

### (3) 事業→キャリア発達を促し、若者の願いを実現する支援をする。

- 若者の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促し、若者の願いを実現する支援をする。

☞自己理解・自己管理能力、課題対応能力、人間関係形成・社会形成能力、キャリアプランニング能力、保護者支援

## 4 センターを支えるために

### (1) 新潟市ユースアドバイザー運営委員会→市民の力

- 新潟市ユースアドバイザーが、主体的に支援活動を行うために設置する。

### (2) 若者支援協議会（全体会議・実務代表者会議・個別支援検討会議）→行政の力

- 51の支援機関・団体と連携し、複合的な課題を解決するために開催する。

### (3) 地域と密着したNPO団体等との協働事業→地域の力

- 地域問題の解決や地域の価値を創造していくことを通して社会性を育てるために行う。

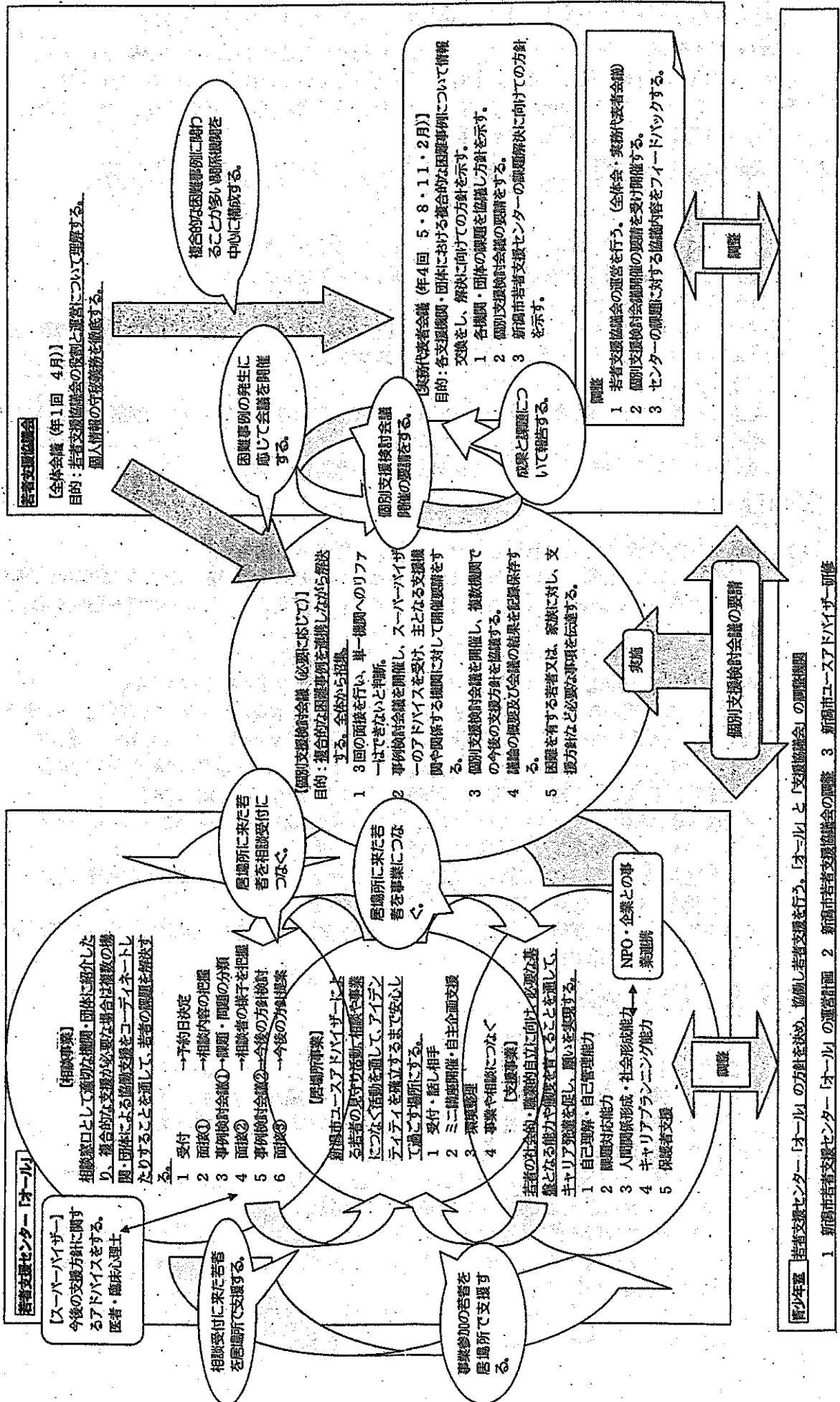
### (4) スーパーバイザーを設置（医師・臨床心理士）→有識者の力

- 紹介や個別事例検討会議において今後の方針等のスーパーバイズをするために設置する。

注1) キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいう。

注2) 自我同一性（アイデンティティ）とは、自分が誰なのかを知ること。いろいろな経験を通して、自尊感情（セルフ・エスティーム）をもつこと。

# 新潟市若者支援センター「オール」・新潟市若者支援協議会の概要



## 新潟市若者支援協議会 構成団体（51関係機関・団体）

（順不同 平成24年度現在）

分野	団体名
雇用 (5)	○新潟公共職業安定所 ○新潟市雇用対策課 ○新潟地域若者サポートステーション ○新潟商工会議所 ○うちのスペース・にいがた
福祉 (21)	○新潟県児童家庭課 ○新潟市福祉総務課 ○新潟市障がい福祉課 ○新潟市こども未来課 ○新潟市北区健康福祉課 ○新潟市東区健康福祉課 ○新潟市中央区健康福祉課 ○新潟市江南区健康福祉課 ○新潟市秋葉区健康福祉課 ○新潟市南区健康福祉課 ○新潟市西区健康福祉課 ○新潟市西蒲区健康福祉課 ○新潟市東区保護課 ○新潟市中央区保護課 ○新潟市西区保護課 ○新潟市児童相談所 ○新潟市社会福祉協議会 ○新潟県臨床心理士会 ○新潟市民生委員児童委員協議会連合会 ○新潟市発達障がい支援センター ○NPO 法人にいがた・オーティズム
教育 (9)	○新潟県高等学校教育課 ○新潟市学校支援課 ○新潟市教育相談センター ○新潟市生涯学習課 ○新潟市中央公民館 ○新潟市中央図書館 ○新潟市中学校長会 ○新潟市地域と学校ふれあい推進課 ○新潟県高等学校長協会（公立）
市民生活 (3)	○新潟市コミュニティ支援課 ○新潟市男女共同参画課 ○NPO 法人女のスペース・にいがた
観光・経済・国際 (3)	○新潟市観光政策課 ○新潟市国際課 ○新潟市産業政策課
農業 (2)	○新潟市食育・花育センター ○NPO 法人ヒーローズファーム
保健・医療 (3)	○新潟市保健所健康増進課 ○新潟市保健所保健管理課 ○新潟市こころの健康センター
司法・更生・警察 (3)	○新潟保護観察所 ○新潟少年鑑別所 ○新潟県警察本部少年課
その他 (2)	○(有)ナマラエンターテイメント ○ひきこもり・サポートネットにいがた

## 相談窓口の流れ

段階	使用シート	内容	備考
1 受付 【来 訪】 【電 話】 【メール】	<b>1 受付シート</b> ①相談スタッフ 記入	1 受付シート内容 ①氏名・相談内容・予約日決定 (シート1)	※緊急性(命) に関わる内容 は、係長へ連 絡する。
2 面接1 【相談内容 の把握】	※ <b>個人情報同意書</b> ②本人・保護者  <b>2 インテークシート</b> ③本人記入 ④相談員記入	※ <b>個人情報同意書内容(同意書)</b> ②同意・署名  2 <b>インテークシート内容</b> ③家族状況・主訴(シート2) ④原因・性格・見立て(シート3)	※7日以内
<b>センター内事例検討会議①【課題・問題の分類】</b> 構成メンバー(相談スタッフ) <input type="checkbox"/> 発達障害 <input type="checkbox"/> 非行傾向 <input type="checkbox"/> 引きこもり <input type="checkbox"/> 家庭内問題 <input type="checkbox"/> 福祉支援 <input type="checkbox"/> 経済・生活 <input type="checkbox"/> 身体疾患 <input type="checkbox"/> 就労・雇用			
3 面接2 【相談者の 様子把握】	<b>3 インテークシート</b> ⑤相談スタッフ	3 <b>インテークシート内容(シート4)</b> ⑤心身の健康状況・発達の特長	※14日以内
<b>センター内事例検討会議②【今後の方針の検討】</b> 構成メンバー(相談スタッフ、センター内支援の場合は事業スタッフと協働) <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">必要な場合は、スーパーバイザーへ</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>1 センター内支援</b></p> <input type="checkbox"/> 相談班・事業班協働で、 <b>センター内事例検討会議</b> <b>③【センター個別支援プログラムシートを作成】</b> ○相談者に「支援アンケートシート」を記入してもらう。(任意) ○データをもとに、必要な支援について協議する。         </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>2 単機関との連携</b></p> <input type="checkbox"/> リファラーを行う ○関係機関へ丁寧につなぐ。 ○1週間後、2週間後、1ヵ月後に状況を確認し、見届けを行う。 <input type="checkbox"/> 医療機関につなぐ         </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>3 複数機関との連携</b></p> <input type="checkbox"/> 青少年室へ連絡(係長) ○資料をもとに個別支援検討会議を実施するか検討する。決裁は課長。 <input type="checkbox"/> 個別支援会議を開催する ○センターが関係機関に要請し、招集を行う。         </div> </div>			
4 面接3 【今後の 方針提案】	<b>4 リファラーシート</b> <b>支援プログラムシート</b> ⑥相談スタッフ	4 <b>リファラー・支援プログラム内容</b> ⑥センター内・他機関・個別支援会議開催へ	※1か月以内

新潟市若者支援センター 若者の利用状況 事例①

Aさん	相談から居場所を利用するようになり、その後事業へも積極的に参加。 居場所：5月(2回), 6月(4回), 7月(1回), 8月(6回), 9月(5回) 事業：農的体験(5回毎回参加) ユースタックキング(3回)				
	3月	4月	5月	6月	7月
概要			事業、ミニ講座へ参加した	居場所へリファアードした	旅行、趣味について話すようになってきた
相談	初回相談 第2回相談		第3回相談 居場所へリファアードした		
事業		農的体験① 対応したYA(A) ミニ講座A	農的体験② 対応したYA(A, B, C)	農的体験③ ユースタックキング 買い物も参加 対応したYA(D)	農的体験④ ユースタックキング 買い物も参加 対応したYA(A, C, D, E, F) ミニ講座E ミニ講座C
居場所					農的体験⑤ ユースタックキング 買い物も参加 対応したYA(A, C, D, G, H) ミニ講座A ミニ講座C ミニ講座D ミニ講座G ミニ講座H
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、特定のYAへ会いにくことから利用が始まった。</li> <li>・YAの初めで様々な事業に参加することにより、YAや参加者と交流が生まれ、7月頃から気軽に誰とでも話すようになってきた。</li> <li>・同じ事業に継続して参加することにより、自分の役割を気づけ、周りの人をサポートする気持ちも湧いてきた。</li> <li>・チャレンジ精神を持っているいろいろな講座に参加し、服装も明るくなった。顔見知りの若者を見つけ、自分から声をかけ、談笑する姿が見られる。</li> <li>・現在は居場所を卒業し、次の目標に向かって専門学校でスキルアップを図っている。</li> </ul>				

新潟市若者支援センター 若者の利用状況 事例②

Bさん	相談から居場所を利用するようになり、その後ミニ講座に参加するようになり、相談につながった。 居場所：4月(3回), 5月(0回), 6月(1回), 7月(1回), 8月(2回), 9月(5回) 事業：カフェ・ド・パンシに毎回参加。				
	3月以前	4月	5月	6月	7月
概要	カフェ・ド・パンシ、ミニ講座に参加していた。	居場所から相談へつながった。			居場所への引継ぎシート作成
相談		第1回相談 第2回相談 第3回相談	他機関へリファアード	フォローアップ面接	フォローアップ面接
事業	カフェ・ド・パンシ	カフェ・ド・パンシ	カフェ・ド・パンシ	カフェ・ド・パンシ	カフェ・ド・パンシ
居場所		対応したYA(A, B, C) ミニ講座A ミニ講座B	対応したYA(A) ミニ講座A	対応したYA(A) ミニ講座A	対応したYA(E, F, G, H, J, K)
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年秋頃から、カフェ・ド・パンシに顔を覚えていた。</li> <li>・冬頃から、自分の興味のあるミニ講座に参加するようになった。</li> <li>・ミニ講座をしながらのYAの声をきっかけから相談へつながった。他機関へリファアードするとともに、居場所利用についての相談を行い利用が増えた。</li> <li>・コミュニケーションの向上を目標に居場所へ立ち寄り、YAとおしゃべりするなど、自分のペースで居場所を利用。</li> <li>・若手意識のある男性YAとも話ができるようになり、他の利用者とのコミュニケーションも広がってスキルアップした。</li> <li>・現在は他機関で就労支援を受けながら居場所を継続利用中。</li> </ul>				

